

2019年度 カリキュラム科目概要



文化服装学院教務部

科コード 14271	科 名 ファッションテキスタイル科 1 年	単 位	4 単位
科目コード 201100	科目名 ウィービング基礎演習	授業期間	通年

担当教員(代表)：長谷川朋子	共同担当者：
----------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 前期は三原組織を中心にサンプル制作を通じ、織物の構造を理解し、制作に必要な知識・技術を習得する。
 前期後半から後期にかけてはマフラー・厚地織物サンプル・身につける布をテーマとした自由制作により、素材・組織選びなど用途に合わせた織物の企画をすることで、風合い・機能・効果を習得する。

授業計画＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

コマ	内 容	コマ	内 容
1	課題1 三原組織	16	課題4 自由制作
2	↓	17	↓
3	↓	18	↓
4	↓	19	↓
5	糸染色	20	↓
6	組織図	21	↓
7	課題3 マフラー制作	22	↓
8	↓	23	↓
9	↓	24	↓
10	↓	25	↓
11	↓	26	↓
12	↓	27	プレゼンテーション 講評
13	↓	28	
14	↓	29	
15	仕上げ 縮絨	30	

評価方法・対象・比重

S～C・F評価 評価基準：学業評価90% 授業姿勢10% 学業評価＝実技課題作品及びレポート提出

主要教材図書

ハンドウィービング(手織りの実習)

参考図書

その他資料 作品サンプル(講師作成)

授業の特徴と担当教員紹介

フリーランスでの图案家、染織家、グループ展を開催などの活動経験をもとに、織物の構造を理解し、制作に必要な知識・技術を習得する。マフラー、厚地織物サンプル、身につける布をテーマとした自由制作により、素材・組織選びなど用途に合わせた織物の企画をすることで、風合い・機能・効果を習得する授業を実施

記載者氏名 長谷川朋子

科コード 14271	科 名 ファッションテキスタイル科 1 年	単 位 2
科目コード 501810	科目名 色彩論・演習 I	授業期間 通年

担当教員(代表) : 天野豊久	共同担当者 :
-----------------	---------

教育目標・レベル設定など

テキスタイルデザインの中で色彩を活用することを想定し、基本的な配色方法を中心に色彩の基礎を学習する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- | | | |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 1. 導入 色について | | 〈講義 1 コマ〉 |
| 2. 色の三属性 | 色の三属性(色相・明度・彩度)
等色相面/色立体
Hue & Tone システム | 〈講義および演習 6 コマ〉 |
| 3. 配色の基礎 | 色相を基準とした配色/トーンを基準とした配色
無彩色の配色の配色
配色(色彩構成)の考え方
ベースカラー/アソートカラー/アクセントカラー/セパレーションカラー
シンメトリー/アシンメトリー/レピテーション/グラデーション | 〈講義および演習 8 コマ〉 |
| 4. 色彩心理 | 色彩の感情効果/連想/イメージ
色の見え 対比現象/同化現象
膨張性/進出性 | 〈講義および演習 5 コマ〉 |
| 5. 色彩理論 | 光、眼と色
三原色と混色 | 〈講義 2 コマ〉 |
| 6. ファッションカラーコーディネーション | ファッションカラーコーディネーション
トーン・オン・トーン/フォ・カマイユ/トーン・イン・トーン/トータル | 〈講義および演習 3 コマ〉 |
| 7. 配色の展開 | ・絵画の配色分析と配色への展開
・色相の移調/トーンの移調 | 〈講義および演習 5 コマ〉 |

評価方法・対象・比重

S・A～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書

『ファッション色彩 I』(文化出版局)

参考図書 特になし

その他資料 Color Chart、ベーシックカラー140

授業の特徴と担当教員紹介

色の知識や実用的な活用術のコンサルタント経験をもとに、ファッション分野のクリエイションで色彩を活用することを想定し、基本的な配色方法を中心に色彩の基礎を学習する

科コード 14271 科 名 ファッションテキスタイル科 1年
科目コード 500810 科目名ファッションデザイン画 I

単 位 2
授業期間 通年

担当教員(代表)：河西 恵美子

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

人体のバランスを把握し、基本となる衣服を身に着けた時の量感や関連する構造を習得する。
基本的な技法からオリジナルな展開へと創造力を高め、デザインアイデアを具体化し表現する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

[プロポーションの把握] …4 コマ

- 基準プロポーションとしての8等身プロポーションの習得
- 様々なポーズのとらえ方について
- 参考資料写真ポーズをもとに理想プロポーションへ表現

[基本着装表現] …3 コマ

- 基本となる衣服の着装、ゆとり・布の動きなどの表現
- ベーシックなアイテムの基本的な着装について

[製品図] …2 コマ

- 衣服を平面画に表現…シャツブラウス、スカート、パンツ等基本アイテムを線で表現

[オリジナルデザイン表現方法] …3 コマ

- 資料となる材料を収集、その感覚イメージを着装デザイン画に
陰影強弱のモノクロ表現やアウトラインの効果、水彩絵の具の基本表現など

[素材表現] …4 コマ

- 特徴のある素材感の習得…光沢素材、透ける素材、デニム、毛皮、ニットなど

[デザイン発想] …3 コマ

- コンテスト応募作品
- デザイン発想課題

[イラストボード制作] …6 コマ

- ファッションを主題に着装画創作デザイン、自由な観点からA3ボードを彩色構成表現

[時間内課題] …2 コマ

- 短時間に課題を理解しまとめる

評価方法・対象・比重 [S～C・F評価]

評価基準：学業評価 80% (課題作品提出物と後期末試験)、授業姿勢 20% (出欠状況、授業態度を考慮)

主要教材図書

文化ファッション大系「ファッションデザイン画」文化出版局

参考図書

その他資料：ファッション雑誌、著名なアーティスト作品写真等

授業の特徴と担当教員紹介

企業においてジュエリーデザインを担当し、独立後、様々な作品を制作してきた活動経験をもとに、人体のバランスを把握し、基本となる衣服を身に着けた時の量感や関連する構造を習得し、基本的な技法からオリジナルな展開と創造力を高め、デザインアイデアを具体化し表現する授業を実施

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 9 5 5

科コード 14271	科名	ファッションテキスタイル科	1 年	単 位	2 単位
科目コード 304000	科目名	服飾手芸		授業期間	通年

担当教員(代表): 齊藤美子・	共同担当者:
-----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>服飾手芸全般における基礎知識を学び、それぞれの技術を基にしてテキスタイル、服飾、小物造形などに応用発展できるようにする。また、素材・テクニク・造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな想像力を身につけることを目標とする。</p>

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、手芸一般知識(0.5) 手芸の変遷や技術の種類などを理解させる 2、レリーフ・ライク表現 ラティスマッキング・シャーリング・ピンキング(2.5) 布を縫い縮めることによって浮き彫り風の表現するテクニクを習得させる 3、加飾美表現 エンブroidアリー基礎(9) 様々な刺繍の基本的なテクニクを習得させる 4、加飾美表現 リボンワーク(2) リボンテープを用いた装飾的なテクニクを習得させる 5、レリーフ・ライク表現 キルティング(3) 2枚の布の間に毛糸や綿を入れて浮き彫り風に表現するテクニクを習得させる 6、レース表現 ニードルポイントレース(3) 針と糸を使って構成するレースの基礎テクニクを習得させる 7、レリーフ・ライク表現 ファゴティング・ドロンワーク(3) 布と布の間に糸のかがりを入れて透し模様を表現するテクニクを習得させる(4) 7、装飾造形表現 習得した様々な手芸テクニクを用いてオリジナルなデザインで服飾小物を製作する <p>授業方法 講義と演習</p>

評価方法・対象・比重	制作物による評価
	作品：授業態度・出席状況＝8：2

<p>主要教材図書</p> <p>文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧ 手芸</p>
<p>参考図書</p> <p>THE ART OF Manipulating Fabric (Colette Wolff)</p>
<p>その他資料</p>

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>藤編みのかごバッグが特徴のオリジナルブランド「yoshiko」を展開し、自らバッグ、アクセサリーの制作を手掛けている経歴から、服飾手芸全般における基礎知識・技術を学び、テキスタイル、服飾、小物造形などに応用発展できるようにする。また、素材・テクニク・造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな想像力を身につける授業を実施</p>

<p>記載者書名欄 齊藤美子</p>

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14271	科 名 ファッションテキスタイル科 1 年	単 位	2 単位
科目コード 980010	科目名 特別講義	授業期間	通年

担当教員(代表)：杉山 美和	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

通常カリキュラムの範囲外における、テキスタイルに関する情報や知識を学ぶ。

クリエイティブ・テキスタイル、トレンド、服装解剖学、VMD、身体表現、デザイン、立体、造形、編集

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

藍染	新島大吾	4 コマ
皮革素材について	竹内健	2 コマ
心理学	野町一成	2 コマ
きもの一般知識	近藤尚子	3 コマ
	管野絢子	
カメラワーク(基礎)	大塚七重	2 コマ
ファッショントレンドとテキスタイル	澤住倫子	1 コマ
真綿からのテキスタイル発想	大金晶子	3 コマ
VMDについて	伊藤淑江	7 コマ
服装解剖学	高見澤ふみ	2 コマ
ウール 2	ウルマーカンパニー	1 コマ
SNS 著作権	太田輝仁	1 コマ
ウォーキング指導	斎藤正彦	1 コマ
産地の現場 八田経編	佐保頌子	1 コマ
仕事の現場 ANTICIPATION	調整中	1 コマ

評価方法・対象・比重

評価基準：学業姿勢・出席状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

藍染、ファッショントレンドとテキスタイル、真綿からのテキスタイル発想、ウール、産地の現場についてなど様々な業界で活躍する方々より、テキスタイルに関する情報や知識を学ぶ

記載者氏名 杉山 美和

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14271	科 名 ファッションテキスタイル科 1 年	単 位	1 単位
科目コード 904510	科目名 キャリア開発 I	授業期間	後期 ()

担当教員(代表) : 森 薫子	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- 『将来を考える』という基本テーマを通して、自身の今後のキャリアを考え今学すべきことを考えるとともに、「聴く・話す・書く(読む)力」を養うことを目的とする
- 育成プロセスとして、単なるやり方を伝えるだけでなく、意識させ、繰り返してできるようになるまで行う

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

次の3点を到達目標とし、以下の項目について取り組む

- ① 世の中に関心がもてるようになり、『働く』という事を意識できるようになる
- ② 将来を考えて、これから取り久べきことが明確化できるようになる
- ③ グループプレゼンテーションを通し、自分のことを表現したりチームで協働することを経験し、人前で自分の意見を堂々と言えるようになる

◆就職観

- ・働く事、働き方について
- ・10年後の理想像について
- ・職種、業種、会社の理解と研究

◆自己理解

- ・強みや価値観について
- ・自分の目標について
- ・社会で生きる強みについて

◆プレゼンテーション

- ・作品 プレゼンテーション
- ・キャリアビジョン プレゼンテーション

以上を、毎回のグループワーク→発表、小作文を通して、繰り返し『話し合う』『書く』を実践する

【評価方法】

受講態度(個人ワーク及びグループワーク・プレゼンテーション実習) 80%+毎回の小レポート 20%

主要教材図書

・レジュメ

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

企業の人事部での経験やキャリアコンサルタントとしての経験をもとに、働く事、働き方についての就職観、自己理解、プレゼンテーション能力を養うことを目指す

記載者氏名 森 薫子

2019年度 カリキュラム科目概要



文化服装学院教務部

科コード 14272	科 名 ファッションテキスタイル科	2 年	単 位	2 単位
科目コード 501510	科目名 テキスタイル図案 I		授業期間	通年

担当教員(代表) : 長谷川 朋子	共同担当者 :
-------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

前期は実技課題を通じてテキスタイル図案の基礎である送り(リピート)とは何かを学び、同時に制作過程において画材の取り扱い方・アイデアを表現するための技術を習得する。

後期はテーマ別の図案作成により季節・ターゲット・用途などに合わせたデザインを考え表現する事で実務に生かせる能力を身につける。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	カラーチップによる図案制作	16	↓
2	コラージュによる図案制作	17	↓
3	キャラクター図案	18	絵画作品からの発想
4	↓	19	↓
5	幾何構成図案	20	↓
6	↓	21	古典
7	チェック図案	22	↓
8	↓	23	↓
9	↓	24	片耳ボーダー
10	スカーフ	25	↓
11	↓	26	↓
12	↓	27	復習課題・講評
13	↓	28	
14	植物	29	
15	↓	30	

評価方法・対象・比重

S~C・F評価 評価基準: 学業評価90% 授業姿勢10% 学業評価=実技課題作品提出

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 サンプル資料(講師作成)

記載者氏名

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部



科コード	14272	科名	ファッションテキスタイル科	2年	単位	4
科目コード	201620	科目名	テキスタイルクリエイション	Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表): 奥田 博伸	共同担当者: 太田・澁谷
-----------------	--------------

概要(教育目標)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

デザインやアイデアを実現する。目的を実現するための技術を個々が学ぶ中で、その達成のために様々な実験を行い、知識や技術を学ぶと共に、同級生が同じく製作する作品の経験を共有しつつ、テキスタイル表現の多様性を学ぶと共に、製作におけるそれらの経験を重ねることにより、具体的なデザインの方法を学ぶ。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

〈前期授業〉オリジナル製作

講義・実習

1. 企画を立てる
2. 企画プレゼンテーション
3. サンプル製作
4. サンプルプレゼンテーション
5. 本製作
6. 製作修了プレゼンテーション

1. 反応染料によるプリント
2. 顔料によるプリント色合わせ

〈後期授業〉オリジナル製作

講義・実習

1. 企画プレゼンテーション
2. 素材製作 本製作
3. 修了プレゼンテーション
4. 塩縮
5. リップル
6. 反応染料防染プリント

1. 反応染料の無地染め
2. 顔料抜染
3. 各種顔料プリント

1. 各種工場見学

評価方法・対象・比重

実習ごとのレポート及びポートフォリオなどの提出物・出欠席・プレゼンテーションの内容・素材や服等のオリジナル製作物

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾関連専門講座③「アパレル染色論」

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

染織工場において実務経験をし、様々なファッションブランドのコレクション用のテキスタイル提案を行うなどの活動経験をもとに、デザインやアイデアを実現するために実験を行い、知識や技術を学びながら、テキスタイル表現の多様性、製作経験を重ね技術を身につける授業を実施

記載者氏名 奥田 博伸

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14272	科 名 ファッションテキスタイル科 2 年	単 位	2
科目コード 501820	科目名 色彩論・演習Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表)：天野豊久	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

色彩論・演習Ⅰで習得した色彩の知識や技術を基礎とし発展的に学習する。

テキスタイルの実際制作において必要と考えられる色再現（混色）に対する知識、技術を高めることを目標の一つとする。

また、市場やメディアからのファッション情報を前提とした色彩計画の考え方について演習を通して学習する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. 概論	産業における色彩の役割 流行色の仕組み	〈講義 1 コマ〉
2. 配色とイメージ	色相・トーンによる配色（復習） ファッションカラーコーディネート フォ・カマイユ／トーン・オン・トーン／トーン・イントーン（復習） ナチュラル・ハーモニー／コンプレックス・ハーモニー ファッションイメージと配色	〈講義および演習 6 コマ〉
3. 色再現	三原色による20色相環の作成 白・黒・純色によるトーンの作成 混色によるカラーチャートの再現 混色による色彩構成	〈講義および演習 9 コマ〉
4. 色彩とコミュニケーション	カラーシステムとカラーコード 色名 慣用色名と系統色名	〈講義および演習 2 コマ〉
5. 色彩計画	色彩計画の進め方 現状と予測情報の調査 次シーズンへの提案 コンセプト、イメージの策定／カラーパレット／カラーデザイン プレゼンテーション資料の作成	〈講義および演習 12 コマ〉

評価方法・対象・比重

S・A～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書 特になし

参考図書 『ファッション色彩Ⅰ』（文化出版局）

その他資料 Color Chart、ベーシックカラー140

授業の特徴と担当教員紹介

色の知識や実用的な活用術のコンサルタント経験をもとに、テキスタイルの制作において必要な色再現の知識・技術を高め、さらに市場やメディアからファッション情報を前提とした色彩計画の考え方を演習をとおして授業を実施

記載者氏名 天野豊久

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14272	科名 ファッションテキスタイル科2年	単位	2
科目コード 500820	科目名 ファッションデザイン画Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表): 橋本定俊	共同担当者:
----------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など)

ファッションドローイングの応用技術を習得して、独自のアイデアをデザイン画で表現しポートフォリオにまとめる。デザインコンセプト(目的)を明確に意識したデザイン展開を行えることを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

(コマ数) 1コマ = 90 分

前期 1 ～ 4

- 人物画/動きのあるポーズの描き方
(3) ポーズの写真資料から人体の角度と動きを分析し、フリーハンドで立体的に描く表現技術を習得する
- デザイン研究1/縫製技法とF デザイン
(3) ギャザー、フレアーなど縫製技法の描き方を知り、直線、曲線で成り立つ形を用いてファッションデザインを考える
- コンテスト1/新人デザイナーファッション大賞
(3) 独自のアイデアをファッションデザイン画にまとめる能力を高めコンテストにチャレンジする
- デザイン研究2/服の歴史からのデザイン展開
(3) アイテム誕生の時代背景を調べ、その主のデザインの本質を活かし独自の現代的アイデアで展開すること
(デザイン展開=類似展開)

後期 5 ～ 9

- デザイン研究3/マイコレクション
(3) 独自のテーマ設定の基5スタイルのオリジナルデザイン画・アイテム製品図をまとめる
- コンテスト2/学内コンテスト
(2) 独自のアイデアを5スタイルのデザイン画にまとめ、コンテストにチャレンジする
- コンテスト3/全国服飾学校ファッション画コンクール
(2) 指定されたテーマの意味を理解し、独自のアイデアからのデザインをファッション画で表現する
- 修了作品/校内ファッション画展
(2) 指定された条件の基に、これまで習得した感性と画力の成果をファッション画でまとめる(オリジナルの作画であることを重視)
- デザイン研究4/ポートフォリオ
(3) 1年間の課題作品を1冊のファイルにまとめる次の学年で活用できる自分のデザイン資料、ブックとしてまとめる

評価方法・対象・比重 作品、学年末試験、出席状況、授業態度

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座④ ファッションデザイン画
Fashion Drawing Basic

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル企業でデザイナーを担当し、商品を作成するために求められる体型と服のバランスを考慮したシルエット、服の素材感などの表現手法を指導しながら、ファッションドローイングの応用技術を習得して、独自のアイデアをデザイン画で表現しポートフォリオにまとめる。デザインコンセプト(目的)を明確に意識したデザイン展開を行えることを目標とする。

記載者氏名 橋本 定俊

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14272	科 名 ファッションテキスタイル科 2 年	単 位	1 単位
科目コード 600900	科目名 ファッションマーケティング	授業期間	前期

担当教員(代表)：砂生 政信	共同担当者：
----------------	--------

<p>概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングの基本を学び、市場の細分化とその特徴を理解する。 ・マーケティングのプロセスにそって、市場に適合したブランド設計を行い、目的を実現させるための戦略について学ぶ。

<p>【授業計画】</p> <p>テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <p><前期：13コマ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マーケティングとは（講義・演習×1コマ） <ul style="list-style-type: none"> ・マーケットとは・マーケティングとは ・リサーチの基本とヒアリングリサーチの実施 2. ヒアリングリサーチのまとめ・プレゼン（演習×1コマ） <ul style="list-style-type: none"> ・「お買い物ヒアリング調査」 3. マーケティングのプロセス（講義・演習×1コマ） <ul style="list-style-type: none"> ・STPマーケティング ・ブランドポジショニング 4. マーケティングのプロセス（講義・演習×1コマ） <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットライフスタイルの分析と活用 ・ライフスタイルマップの作成 5. 課題説明（講義・実習×1コマ） <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングからのブランド設計 6. ブランド企画のステップ（講義・実習×2コマ） <ul style="list-style-type: none"> ・ステップシートの作成 7. 企画書構成説明（講義×1コマ） 8. 企画書作成（点検・実習×4コマ） <ul style="list-style-type: none"> ・ブランド概要の設定 ・ターゲットライフスタイル分析とマップ作成 ・ポジショニングマップの作成 ・メインアイテムとメインデザインの設定 ・スタイリング提案 ・チャネル設定とプロモーション 9. プレゼンテーション（発表×1コマ）

<p>評価方法・対象・比重</p> <ul style="list-style-type: none"> ・S～C・F評価 ・評価基準：学業評価 80%、授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	配布プリント

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>デザイナー、セレクトショップの経営、モノづくりの視点を取り入れた実務的な経験をもとに、マーケティングの基本を学び、市場の細分化とその特徴を理解し、プロセスによって市場に適合したブランド設計を行い目的を実現させるための戦略について学ぶ</p>

<p>記載者氏名</p> <p>砂生 政信</p>

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14272	科 名 ファッションテキスタイル科 2 年	単 位	2
科目コード 201510	科目名 染織文化論 I	授業期間	通年

担当教員(代表): 高 橋 淑 恵	共同担当者:
-------------------	--------

教育目標・レベル設定など

日本の染織文化について年代を追って歴史的に解説する。また、日本の染織文化に影響を及ぼした中国や東南アジアなどの東洋の染織文化や西洋の染織文化のつながりについて触れることにより深い理解と見識を広げ、染織の文様や知識を身につけることを目指す。様々な染織の知識はテキスタイルを考えるうえで応用できる基礎的な力を育てることを目標とする。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名、ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	染織文化の始まり	16	室町時代の染織と文様
2	古代の染色	17	安土桃山時代の染織と文様 1
3	織物の始まり 原始機について	18	安土桃山時代の染織と文様 2
4	飛鳥時代の染織と文様	19	小袖の発生と進展
5	奈良時代の染織と文様 1	20	小袖の文様
6	奈良時代の染織と文様 2	21	江戸時代の染織と文様 1 歌舞伎衣装
7	シルクロードについて	22	江戸時代の染織と文様 2 縞・緋
8	貝紫について	23	江戸時代の染織と文様 3 吉祥文様
9	平安時代の染織と文様	24	沖縄の染織
10	鎌倉時代の染織	25	アジアの染織と文様 更紗
11	日本の家紋と西洋の紋章	26	アジアの染織と文様 イカット
12	琉球王家の染色 1	27	総まとめ
13	琉球王家の染色 2 紅型実習	28	
14	琉球王家の染色 3 藍型実習	29	
15	中国の染織	30	

評価方法・対象・比重

ペーパーテスト 90% 出席・提出物 10%

主要教材図書 なし

参考図書 織りと染めの歴史 日本編 河上繁樹 藤井健三著

その他資料 プリント

授業の特徴と担当教員紹介

色彩用語辞典の染織分野を担当し執筆、フリーランスでは手織りで作品を制作する活動経験をもとに、日本の染織文化について年代を追って歴史的に解説し、理解と見識を広げ染織の文様や知識を身につける授業を実施

記載者書名欄 高橋 淑恵

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14272	科 名 ファッションテキスタイル科2年	単 位	1単位
科目コード 904520	科目名 キャリア開発Ⅱ	授業期間	後期

担当教員(代表)： 二上 武生	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

学生が就職を志望する先に内定するために必要な「就職力」を講義＋実習を通して身につけさせる

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 授業全体像・ねらい・・・・・・・・・・・・・・・・・・(講義・実習) <1コマ>
2. 自己表現・・・・・・・・・・・・・・・・・・(講義・実習) <3コマ>
3. 作品プレゼンテーション・・・・・・・・・・(講義・実習) <2コマ>
4. 就職活動の全体像・・・・・・・・・・(講義・実習) <1コマ>
5. 会社研究・仕事研究・・・・・・・・・・(講義・実習) <2コマ>
6. ビジスマナー／企業説明会対策・・・・・・・・・・(講義・実習) <2コマ>
 - ・電話とメールのマナー／言葉遣い／職場のマナー／訪問のマナー
 - ・身だしなみ／立居振舞い
7. 履歴書／エントリーシート対策・・・・・・・・・・(講義・実習) <1コマ>
8. 面接対策／グループディスカッション対策・・・・・・・・・・(講義・実習) <1

【評価方法】

出欠席、受講態度、実習(面接練習、グループディスカッション練習、プレゼンテーション練習)参画度

主要教材図書	「就職対策」(キャリア支援室)
参考図書	特になし
その他資料	随時配布

授業の特徴と担当教員紹介

フリーランスでのキャリアプロデューサーの活動経験をもとに、学生が志望する就職先に内定するために必要な就職力を講義と実技を通して身につけさせる授業を実施

記載者氏名 二上 武生

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14272	科 名 ファッションテキスタイル科 2年	単 位	1 単位
科目コード 980020	科目名 特別講義 II	授業期間	通年

担当教員(代表)：澁谷 摩耶	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
物作りをする上で有意義な情報や技法を学びとり、個々の創作活動に発展性を持たせる

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. ウールについて	ウール協会	(1コマ)
2. 藍染め実習	新島 大吾	(1コマ)
3. ポートフォリオの作り方	森 薫子	(6コマ)
4. 産地の現場	佐保頌子	(1コマ)
5. 仕事の現場	講師未定	(1コマ)
6. 帽子	窪田 恵美子	(4コマ)
7. ウォーキング指導	斎藤 正彦	(1コマ)

評価方法・対象・比重
出席状況、レポート提出

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

ウールについて、藍染、産地の現場についてなど様々な業界で活躍する方々より、物作りをする上で有意義な情報や技法を学び取り、個々の創作活動に発展性を持たせる授業を実施

記載者氏名 澁谷 摩耶

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14273	科 名 ファッションテキスタイル科3年	単 位	2単位
科目コード 604000	科目名 テキスタイルマーチャンダイジング	授業期間	通年

担当教員(代表)：竹内 忠男	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

前期の教育目標は2年次までに習得した知識内容レベルの自己判断をした上で、テキスタイル知識の補足的復習。後期は前期の内容を踏まえて、シーズンテキスタイル企画、又アイテム企画等への応用を学習し、各自のオリジナル性を生かした、ファッションテキスタイルマーチャンダイジング手法を習得する事を目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	講義全体ガイダンス。	16	市場ブランド分析の手法を学ぶ。
2	習得素材知識確認テスト実施。	17	ブランドの市場ポジショニング手法の解説。
3	上記テストの解答と解説。	18	グループ作業にて市場ポジショニング作業。
4	PPT使用にて、素材知識解説（繊維原材料）。	19	オリジナルブランド企画作業。
5	上記サンプルの提示と解説。	20	同上
6	PPT使用にて、素材知識解説（糸種・組織）。	21	上記作業の企画発表とその講評。
7	上記サンプルの提示と解説。	22	服装史とテキスタイルの関係
8	PPT使用にて、素材知識解説（染色仕上げ加工）	23	同上
9	上記サンプルの提示と解説。	24	これからのデザインの考え方と市場流通の方向性解説。
10	日本の産地状況（産地生産地の紹介を含む）	25	各個人にてシーズン企画立案作業。
11	日本繊維業界の現在における流通形態の解説。	26	同上
12	前期学習達成度確認。	27	同上
13	合成繊維発展の歴史。	28	個人企画作業の発表と講評、評価。
14	世界の業界スケジュール。	29	
15	ファッショントレンド分析。	30	

評価方法・対象・比重

前期評価は習得知識確認の筆記テストを実施、後期は企画立案とその内容プレゼンテーションを主たる評価とする。

提出レポート、出席はその補完事項とする。評価比重；レポート等提出物 60% 受講姿勢 20% 出席率 20%

主要教材図書

参考図書

その他資料 リソースセンター資料（テキスタイルライブラリー、ビデオ等）

授業の特徴と担当教員紹介

企業においてインテリア生地や婦人服のプリント企画を担当し、婦人ファッションの国内外の情報整理・分析、トレンド設定、素材開発、開発した商品の構成を含めたプレゼンテーションなどの業務経験をもとに、シーズンテキスタイル企画、アイテム企画などを学び、オリジナル性を生かしたファッションテキスタイルマーチャンダイジング手法を習得する授業を実施

記載者氏名 竹内 忠男

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14273	科 名 ファッションテキスタイル科	3年	単 位	2単位
科目コード 501520	科目名 テキスタイル図案Ⅱ		授業期間	通年

担当教員(代表)：長谷川 朋子	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 2年時の演習の上にさらに独自の発想を表現できるレベルに技術を向上させ、テーマ別にターゲット・季節など使用するシーンをこまかく設定した図案を作成することで、繊維業界における図案の実際を学ぶ。
 プリント演習・服飾造形等他の授業と連携し図案作成からプリント、縫製まで服作りの流れを習得する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	花	16	音楽
2	↓	17	↓
3	↓	18	↓
4	ハンカチ	19	2020SS用メンズ
5	↓	20	↓
6	↓	21	↓
7	2019-20AW用レディース	22	自由制作
8	↓	23	↓
9	↓	24	↓
10	古典	25	↓
11	↓	26	↓
12	↓	27	プレゼンテーション・講評
13	エスニック	28	
14	↓	29	
15	↓	30	

評価方法・対象・比重

S～C・F評価 評価基準：学業評価90% 授業姿勢10% 学業評価＝実技課題作品提出

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 サンプル資料(講師作成)

授業の特徴と担当教員紹介

フリーランスでの図案家、染織家、グループ展を開催などの活動経験をもとに、独自の発想を表現できるレベルに技術を向上させ、テーマ別にターゲット・季節など使用するシーンをこまかく設定した図案を作成することで繊維業界の実情を学ぶ。

記載者氏名 長谷川 朋子

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14273	科 名 ファッションテキスタイル科 3 年	単 位	2 単位
科目コード 604200	科目名 テキスタイル商品企画	授業期間	通年 ()

担当教員(代表)：宮本英紀	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

テキスタイルの基礎知識・ブランド設計・市場調査などを通じて、ストールや服といった実際の商品を企画し、文化・ファッションテキスタイル研究所にて生地を製織し、製品を作成する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

前期はストールの商品企画をする。

まずストールやテキスタイルについての知識を深める。

次にグループに分かれてブランドを設計し、そのブランドイメージに沿った商品企画をしていく。

実際のショップに行き、客層・価格設定・素材や色の傾向などを調査する。

その後生地の企画から商品の設計まで行い、八王子の文化・ファッションテキスタイル研究所にて生地を製織。

そして商品に仕上げていく。

後期はアイテムの幅を広げ、服や各種インテリアなどの商品企画を予定している。

最終的にはショップや文化祭のバザーなどでの販売というところまでを検討中です。

【評価方法】

ブランド設計及び完成したアイテム等を検討しています。

主要教材図書

参考図書

その他資料 文化・ファッションテキスタイル研究所にあるテキスタイル資料及び各種データ

授業の特徴と担当教員紹介

織物メーカーでの実務経験をもとに、テキスタイルの基礎知識、ブランド設計、市場調査などを通じて、ストールや服の商品企画をし、生地・製織し、製品を作成する授業を実施

記載者氏名 宮本英紀

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14273	科 名 ファッションテキスタイル科 3 年	単 位	2 単位
科目コード 500830	科目名 ファッションデザイン画 Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表)：橋本 定俊	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

卒業学年ではデザインの現場（社会）で求められる業務内容を課題内容として、プロへの準備段階と考える。
作品レベルでは個性を尊重するが思いつきの内容ではなく第三者の質問に丁寧な説明が出来ることを目指す。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- アイテム図の応用 トップス ボトムス
アパレル業界で多く描くことになるアイテム図を正確にバランス良く描く。
ベーシックアイテムの例題
スカート/パンツ シャツ/ドレスシャツ ジャケット/テラードジャケット
フロントスタイルとバックスタイル
- オリジナルデザイン（テキスタイル図案と連動）
発想（コンセプト立案）制作からプレゼンテーション
オリジナルデザインしたラフスケッチを基にアイテム製品図を描く。フロントスタイルとバックスタイル
オリジナルデザインしたアイテムをスタイル画にまとめる
自分の作品を口答でプレゼンテーションする重要性を理解する。
就職の面接時の練習もかねて意識づける。
- クリエーションブック 1（前半）
デザインの現場で求められる企画力に対応できるように学生各自の世界観を
世の中のニーズに落とし込み新しい価値の提案をまとめる課題
コンセプト立案 企画イメージマップ テキスタイル図案 アイテム製品図 スタイル画 15 点以上
クリエーションブック中間発表
- 夏期課題 クリエーションブック 1 完成
投票／プレゼン 自分の作品を口答でプレゼンテーションする事はデザイン表現の一部である事を理解する。
- クリエーションブック 2（後半）
完成したクリエーションブック 1 の流れを基に、より具体的な新しいテーマを設定し作品内容の進化、
グレードアップを目指す。
企画イメージマップ テキスタイル図案 アイテム製品図 アクセサリー スタイル画 5 点以上
クリエーションブック 2 完成 投票／プレゼン
- 学内コンテスト作品応募
- 校内ファッション画展の作品制作

【評価方法】

評価基準：学業評価75%、授業姿勢25%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル企業でデザイナーを担当し、商品を制作するために求められる体型と服のバランスを考慮したシルエット、服の素材感などの表現手法を指導しながらデザインの現場で求められる業務内容を課題として、プロへの準備段階として授業を実施

記載者氏名 橋本 定俊

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14273	科 名 ファッションテキスタイル科3年	単 位	2単位
科目コード 700300	科目名 ピンワーク	授業期間	通年(隔週)

担当教員(代表): 原田 華江	共同担当者:
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ピンワーク習得を通して素材の特性を理解し平面から立体への表現を実感する事で発想や創造力の幅を広げる。
- ・テキスタイルの展示会を想定し、企画～資料作成～プレゼンテーション～演出までを身につけ現実的な意識を高める。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- | | |
|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 1. (講義)ピンワークについての概要 | ・資料による説明 |
| (実習)ピンワークの基本技術 | ・ピンの扱い、アンビエ、ダブルビエの説明、基礎実習(ボディ使用) |
| 2. (実習)ピンワークの基本技術 | ・マネキンの扱い方と注意点説明、当て布の付け方(マネキン使用) |
| | ・アンビエ、ダブルビエの基礎実習(マネキン使用) |
| | ・アンビエ、ダブルビエの応用実習(マネキン使用) |
| 3. (実習)ピンワークの基本技術 | ・アンビエ、ダブルビエの復習とドレープの実習(マネキン使用) |
| 4. (実習)ピンワークの基本技術 | ・タッキングの基礎実習と応用実習(マネキン使用) |
| 5. (実習)ピンワークの基本技術 | ・ギャザリングの実習(マネキン使用) |
| 6. (実習)ピンワークの基本技術 | ・テーマに沿って習得したテクニックを施す実習及びテスト(マネキン使用) |
| 7. (講義)空間構成について | ・空間構成の説明 |
| (実習)ピンワークの応用 | ・布の立体構成の実習(T字バー、BOX、円柱を使用) |
| 8. (実習)ピンワークの応用 | ・布の平面構成の実習(パネル使用) |
| 9. (実習)ピンワークの応用 | ・マネキン3体構成に2種以上の布を施した空間表現実習(グループ実習) |
| 10. (実習)ピンワークの応用 | ・異素材のピンワーク実習及びテスト(マネキンもしくはボディ使用) |
| 11. (実習)仮想展示会の企画書作成 | ・自作のテキスタイルを使用した展示会を想定し企画書の作成
(テーマ、コンセプト、メインターゲット、予算設定、
イメージカラー、完成イメージ画) |
| 12. (実習)仮想展示会の企画書作成 | ・プレゼンテーションの演習と企画書を実現させた空間演出 |

【評価方法】

主要教材図書	①文化ファッション大系 ファッション流通講座8 ディスプレイ・VP・VMD
参考図書	評価基準 学業評価 80% 授業姿勢 20% 個人資料
その他資料	個人資料

授業の特徴と担当教員紹介

企業においてデザイナー、ビジュアルマーチャンダイジングコーディネーターを経て、フリーランスでマーチャンダイジングプランニング、ディスプレイデザインの活動経験をもとに、素材の特性を理解し平面から立体への表現を実感し発想や創造力の幅を広げ、テキスタイルの展示会を想定し、企画から資料作成・プレゼンテーション・演出までを身につける授業を実施

記載者氏名 原田 華江

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

1

科コード 14273	科 名 ファッションテキスタイル科3年	単 位	1単位
科目コード 980030	科目名 特別講義 III	授業期間	通年

担当教員(代表): 太田 繁	共同担当者:
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

物作りをする上で有意義な情報や技法を学びとり、個々の創作活動に発展性を持たせる。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- | | | |
|-----------------------|----------|-------|
| 1. 織物の企画 | 宮本 英治 | (2コマ) |
| 2. マーケティングの基礎知識 | 波多野 辰美 | (1コマ) |
| ファッションビジネスの入り口 | 波多野 辰美 | (1コマ) |
| 3. ショーの組み立てと演出の必要性 | 斎藤 正彦 | (3コマ) |
| 卒業制作ショーに向けて (モデル指導含む) | | |
| 4. ファッショントレンド情報解説 | 澤住 倫子 | (1コマ) |
| 5. ショー演出の映像効果・編集について | 情報教育担当教員 | (1コマ) |
| 6. コーディネートの知識と必要性 | 夏目 幸恵 | (1コマ) |
| 7. ヘアメイク(卒業制作に向けて) | 夏目 幸恵 | (1コマ) |
| 8. テキスタイル産地 (浜松産地) | 濱田 美希 | (1コマ) |
| 9. テキスタイル産地2 (埼玉県羽生市) | 新島 大吾 | (4コマ) |
| (藍染め実習含む) | | |

評価方法・対象・比重 ②

出席状況、レポート提出

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

織物の企画、マーケティングの基礎知識、ファッショントレンド情報解説など様々な業界で活躍する方々より、物作りをする上で有意義な情報や技法を学び取り、個々の創作活動に発展性を持たせる授業を実施

記載者書名欄 太田 繁